

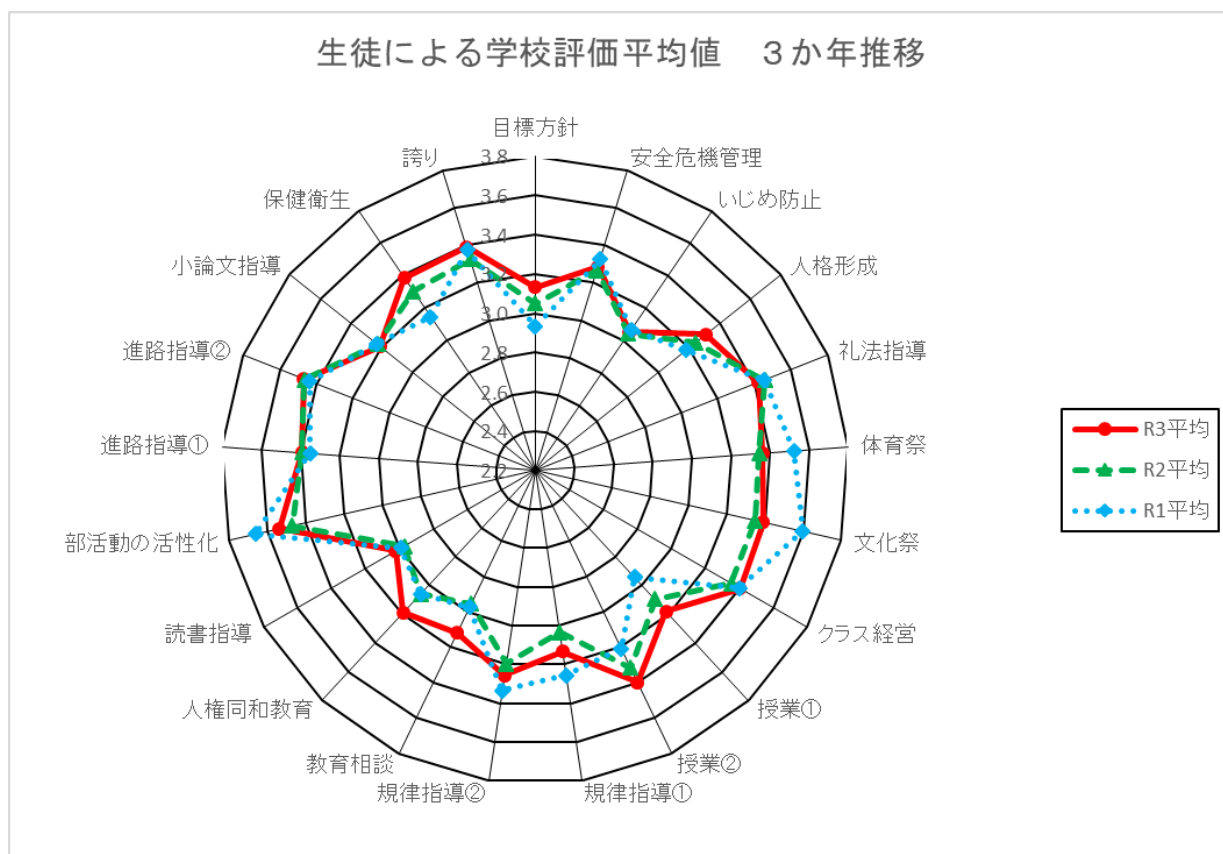
1 生徒による学校評価

(1) 各項目における各評価の占める割合

4 そう思う 3 ややそう思う 2 ややそう思わない 1 ほとんどそう思わない

	項目名	評価項目	評価4	評価3	評価2	評価1	R3平均	R2平均	R1平均
1	目標方針①	本校は「生徒にワンランク上を目指させる」という教育方針を日々の教育に生かしている。	25.0%	63.8%	10.7%	0.5%	3.1	3.1	2.9
2	安全危機管理	本校は交通安全指導など生徒の命を守るための安全管理に取り組んでいる。	41.1%	47.4%	10.2%	1.3%	3.3	3.3	3.3
3	いじめ防止	本校はいじめの未然防止や早期発見のために組織的に取り組んでいる。	26.5%	55.4%	15.1%	3.1%	3.1	3.0	3.1
4	人格形成	本校は女子高としての特性を活かし、品格ある人物像を目指した教育を行っている。	40.8%	50.3%	8.2%	0.8%	3.3	3.2	3.2
5	礼法指導	本校の生徒は基本的な生活習慣（あいさつ・時間厳守等）を確立できている。	48.5%	45.9%	4.8%	0.8%	3.4	3.5	3.5
6	体育祭	体育祭は満足できるものである。	48.7%	41.1%	7.9%	2.3%	3.4	3.3	3.5
7	文化祭	文化祭は満足できるものである。	51.8%	37.0%	9.7%	1.5%	3.4	3.3	3.6
8	クラス経営	行事や学級活動等を通して、クラスの中に望ましい人間関係ができています。	48.5%	44.6%	5.9%	1.0%	3.4	3.4	3.4
9	授業①	分かりやすい授業が行われている。	27.3%	64.5%	7.1%	1.0%	3.2	3.1	2.9
10	授業②	先生は質問に丁寧に答えてくれる。	46.9%	46.9%	5.4%	0.8%	3.4	3.3	3.2
11	規律指導①	本校の生徒は校則を守っている。	29.6%	56.4%	12.0%	2.0%	3.1	3.0	3.3
12	規律指導②	本校の生徒は校外で社会のルール（法）やマナーを守っている。	34.4%	57.9%	6.6%	1.0%	3.3	3.2	3.3
13	教育相談	本校の生徒は先生方に対して、必要なときに不安や悩みを相談できている。	29.1%	56.1%	12.5%	2.3%	3.1	3.0	3.0
14	人権同和教育	本校の人権学習は、効果的に行われている。	33.7%	53.3%	11.2%	1.8%	3.2	3.1	3.1
15	読書指導	本校は朝読書や図書館利用を推進して、読書習慣を育てている。	31.6%	43.1%	21.2%	4.1%	3.0	3.0	3.0
16	部活動の活性化	本校の部活動は活発であり、競技力や技能の向上、人間的な成長につながっている。	57.9%	38.8%	2.6%	0.8%	3.5	3.5	3.7
17	進路指導①	本校の進路指導は、生徒の進路実現に向けて適切なサポートができています。	47.4%	45.2%	6.6%	0.8%	3.4	3.4	3.4
18	進路指導②	本校は適切に進路情報を提供している。	53.1%	41.6%	4.3%	1.0%	3.5	3.5	3.4
19	小論文指導	本校の小論文指導は効果的に行われている。	36.5%	49.7%	12.2%	1.5%	3.2	3.2	3.2
20	保健衛生	本校は病気の子供の予防や環境美化に積極的に取り組んでいる。	47.2%	45.4%	6.1%	1.3%	3.4	3.3	3.1
21	誇り	鹿屋女子高等学校の生徒であることに誇りを持っている。	49.2%	42.6%	6.1%	2.0%	3.4	3.3	3.4

(2) 評価平均値の3か年比較



(3) 所見

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく表れた結果となった。部活動(3.5)、体育祭・文化祭(3.4)は昨年度に比べ、少しずつ大会が開催され、学校行事も工夫をしながら実施されたこともありやや改善が見られたが、いずれもコロナ禍前の水準には戻っていない。反面、保健衛生(3.4)は前年よりもさらに高い結果となった。また、校則や社会におけるマナーが守られていないと感じている回答や意見が昨年同様見られ、規律指導①・②の項目はやや改善したものの、令和元年度を下回る結果となった。

一方、目標方針(3.1)や授業①(3.2)、授業②(3.4)等は他の項目に比べて例年評価が低かったが、昨年度評価が改善され、今年度はさらに上昇した。授業におけるICT機器の活用や集会等での呼びかけ等の効果が出ているものと思われる。また、人格形成(3.1)や教育相談(3.1)、人権同和教育(3.2)に対する評価が例年より上昇している。ホームルームや面談等を通して、先生方の思いが徐々に生徒の心に届いていることが窺える。

(4) 今後の課題

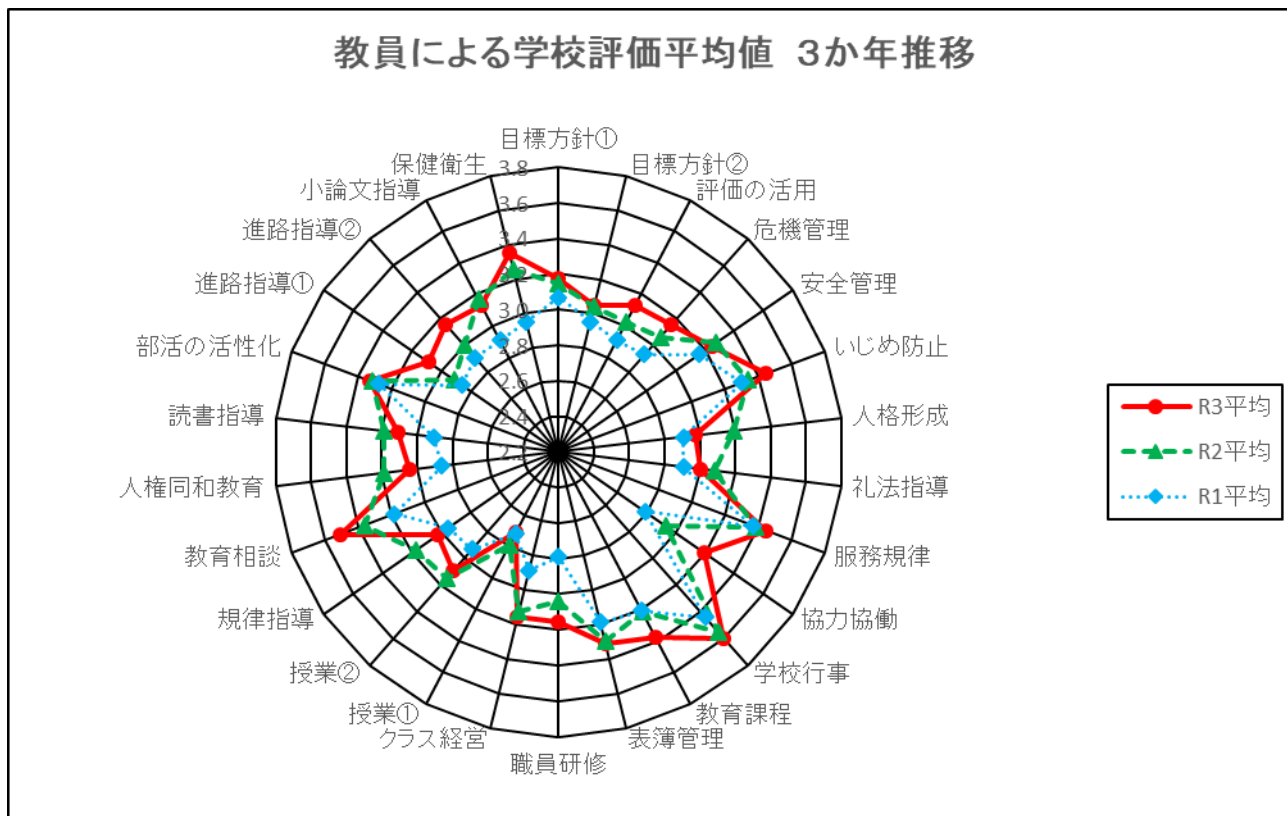
- ・ 日常の困り事や悩み事を生徒が気軽に相談できるような信頼関係・相談体制の構築
- ・ 生徒間のトラブルに関する情報共有体制の強化や生徒指導における共通理解の徹底
- ・ コロナ禍における授業や学校行事の充実のための更なる工夫

2 職員による学校評価

(1) 各項目における各評価の占める割合

項目名	評価項目	評価4	評価3	評価2	評価1	R2平均	R2平均	R1平均
1	目標方針①	20.0%	77.8%	2.2%	0.0%	3.2	3.1	3.1
2	目標方針②	15.6%	75.6%	6.7%	2.2%	3.0	3.0	3.0
3	評価の活用	24.4%	64.4%	11.1%	0.0%	3.1	3.0	2.9
4	危機管理	24.4%	66.7%	8.9%	0.0%	3.2	3.1	2.9
5	安全管理	35.6%	53.3%	11.1%	0.0%	3.2	3.3	3.2
6	いじめ防止	46.7%	51.1%	2.2%	0.0%	3.4	3.3	3.3
7	人格形成	13.3%	71.1%	15.6%	0.0%	3.0	3.2	2.9
8	礼法指導	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	3.0	3.1	2.9
9	服務規律	46.7%	51.1%	2.2%	0.0%	3.4	3.4	3.4
10	協力協働	31.1%	57.8%	11.1%	0.0%	3.2	2.9	2.8
11	学校行事	62.2%	35.6%	2.2%	0.0%	3.6	3.6	3.4
12	教育課程	40.0%	57.8%	2.2%	0.0%	3.4	3.2	3.2
13	表簿管理	37.8%	55.6%	6.7%	0.0%	3.3	3.3	3.2
14	職員研修	24.4%	66.7%	8.9%	0.0%	3.2	3.0	2.8
15	クラス経営	24.4%	66.7%	8.9%	0.0%	3.2	3.1	2.9
16	授業①	11.1%	57.8%	22.2%	8.9%	2.7	2.8	2.7
17	授業②	17.8%	73.3%	8.9%	0.0%	3.1	3.1	2.9
18	規律指導	13.3%	75.6%	11.1%	0.0%	3.0	3.2	3.0
19	教育相談	53.3%	44.4%	2.2%	0.0%	3.5	3.4	3.2
20	人権同和教育	17.8%	68.9%	13.3%	0.0%	3.0	3.2	2.9
21	読書指導	20.0%	71.1%	8.9%	0.0%	3.1	3.2	2.9
22	部活動の活性化	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	3.3	3.3	3.3
23	進路指導①	22.2%	64.4%	13.3%	0.0%	3.1	2.9	2.9
24	進路指導②	26.7%	62.2%	11.1%	0.0%	3.2	3.0	2.9
25	小論文指導	22.2%	68.9%	8.9%	0.0%	3.1	3.2	2.9
26	保健衛生	35.6%	64.4%	0.0%	0.0%	3.4	3.3	3.0

(2) 評価平均値の3か年比較



(3) 所見

以前と比べると、評価項目による差が縮まった。評価項目別に見るとコロナ禍の影響が見て取れるところが多い。その中で、学校行事(3.6)や保健衛生(3.4)、教育相談(3.5)、いじめ防止(3.4)、教育課程(3.4)などから先生方が、教育活動をいかに充実していくのかという課題に積極的に取り組んでいただいていた事がうかがえる。一方、平均値が3.0(概ね達成している)を下回った項目が、授業①(2.7)の1項目だけであった。新学習指導要領が令和4年度から年次進行で実施される。今後全職員で職員研修等を充実させるなど研究を進めていくことが重要になる。

(4) 今後の課題

- ・ 業務改善の更なる促進と、職員が抱える仕事上の問題や悩み等を相談・共有できる組織体制の充実
- ・ シラバスの活用方法の工夫改善(生徒・保護者への提示, 定期的な進捗確認等)及び評価方法(観点別評価)の研究
- ・ 新型コロナウイルス感染症防止対策に関連する保健衛生や人権同和教育, 教育相談の充実
- ・ 図書館の利用促進や朝読書の時間の工夫・充実
- ・ 進路指導体制や進路情報提供の更なる充実

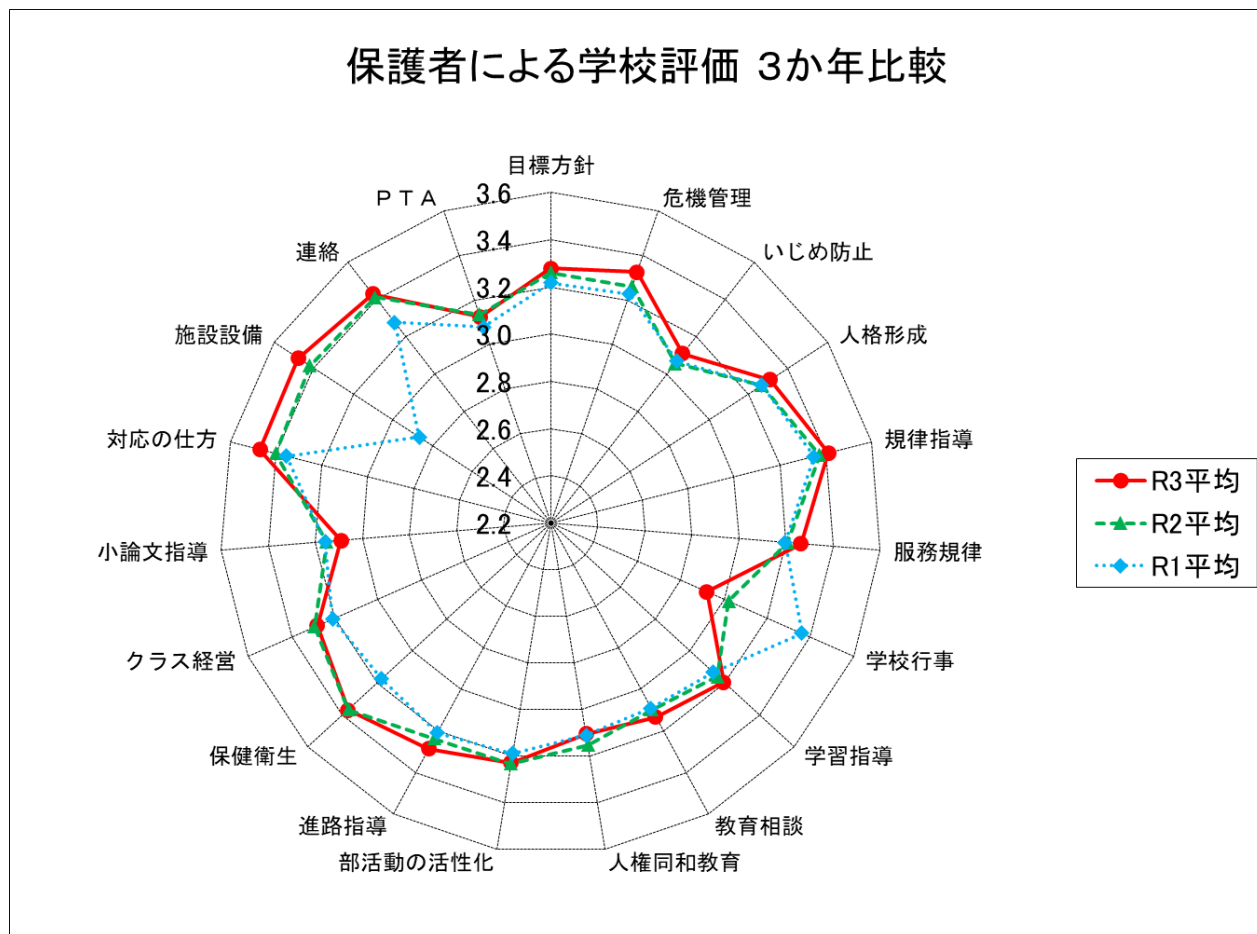
3 保護者による学校評価

(1) 各項目における各評価の占める割合

4 十分達成している 3 おおむね達成している 2 やや達成されていない 1 ほとんど達成されていない

	項目名	評価項目	評価4	評価3	評価2	評価1	R3平均	R2平均	R1平均
1	目標方針	鹿屋女子高は「学校教育目標」及び「教育方針」等を日々の教育に生かしている。	33.8%	60.8%	5.1%	0.3%	3.3	3.3	3.2
2	危機管理	防犯対策や防火防災対策、交通安全指導など生徒の命を守るための配慮がなされている。	43.3%	47.1%	8.2%	1.4%	3.3	3.3	3.2
3	いじめ防止	いじめの未然防止や早期発見のために組織的に取り組んでいる。	25.3%	63.1%	8.9%	2.7%	3.1	3.1	3.1
4	人格形成	女子高としての特性を活かし、品格ある人物像を目指した教育を行っている。	41.3%	49.1%	8.9%	0.7%	3.3	3.3	3.3
5	規律指導	生徒は基本的な生活習慣が確立され、校則や社会のルールを遵守するために、適切な指導が行われている。	47.1%	47.4%	5.1%	0.3%	3.4	3.4	3.3
6	服務規律	鹿屋女子高の教員は、教育公務員として望ましい職務態度である。	37.9%	52.9%	6.8%	2.4%	3.3	3.2	3.2
7	学校行事	体育祭や文化祭などの学校行事は満足できるものである。	21.2%	52.6%	23.5%	2.7%	2.9	3.0	3.4
8	学習指導	各教科の学習指導は効果的に行われている。	29.4%	61.4%	8.5%	0.7%	3.2	3.2	3.1
9	教育相談	生徒や保護者が不安や悩みを相談しやすい体制ができています。	32.8%	50.9%	13.3%	3.1%	3.1	3.1	3.1
10	人権同和教育	人権学習は効果的に行われている。	23.2%	65.9%	9.2%	1.7%	3.1	3.2	3.1
11	部活動の活性化	部活動は、競技力や技能の向上、人格形成に資するものとなっており、充実した活動が行われている。	35.5%	53.2%	9.9%	1.4%	3.2	3.2	3.2
12	進路指導	3年間を見通した適切な進路指導がなされ、ワンランク上の進路実現に努めている。	39.6%	50.5%	8.9%	1.0%	3.3	3.2	3.2
13	保健衛生	疾病の予防や環境衛生の保持、清掃等の環境美化に積極的に努めている。	43.0%	50.9%	6.1%	0.0%	3.4	3.4	3.2
14	クラス経営	望ましい学級づくりと諸指導を効果的に実践している。	37.9%	53.2%	7.8%	1.0%	3.3	3.3	3.2
15	小論文指導	全校的な取組として、3年間を見通した小論文指導を計画的・効果的に行っている。	24.2%	61.8%	13.0%	1.0%	3.1	3.2	3.2
16	対応の仕方	電話や訪問の際の学校側の対応は適切である。	51.9%	44.0%	3.4%	0.7%	3.5	3.4	3.4
17	施設設備	学校の施設設備は満足できるものである。	54.6%	39.6%	4.8%	1.0%	3.5	3.4	2.9
18	連絡	学校からの保護者への連絡は適切に行われている。	49.8%	43.7%	6.1%	0.3%	3.4	3.4	3.3
19	P T A	本校のPTA活動は組織的かつ活発に行われている。	24.9%	63.5%	10.6%	1.0%	3.1	3.1	3.1

(2) 評価平均値の3か年比較



(3) 所見

例年と評価の傾向は大きく変わらず、コロナ禍の中で制限を設けて開催せざるをえなかった7項「学校行事(2.9)」を除いて「おおむね達成している(3.0)」以上の評価となっている。

全19項目中、特に高い評価をいただいた項目が対応の仕方(3.5)、施設設備(3.5)、連絡(3.4)、保健衛生(3.4)、規律指導(3.4)であった。一方で、平均値では「おおむね達成している(3.0)」以上の評価をいただいているが、教育相談、服務規律、いじめ防止の各項目で評価1の割合が他の項目に比べると高くなっている。これまでの取り組みを振り返り、保護者からのより良い学校づくりへの意見も踏まえ、改善に努めていく必要がある。

(4) 今後の課題

- ・保護者が参加しやすいPTA活動についての在り方の検討
- ・教育相談、いじめ防止についての職員研修等の充実
- ・服務規律の厳正確保について職員の意識を高める
- ・校外におけるマナー、ルール遵守についての更なる啓発